



互いのきずな深め 新婚さんが植樹

令和3年度 婚姻者に対する記念植樹式

婚

婚姻者に対する記念植樹式が4月17日、長者の原「結婚の森」で行われました。

この植樹式は、婚姻の届出をした新婚夫婦の結婚記念として、村の木である桜の植樹を行うもの。植樹には、寒さに強いオオヤマザクラが用意されました。

毎年行っていたこの植樹式。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言下で中止となったため、今回1年ぶりの開催となりました。対象者は令和元年度・2年度中に婚姻の届出をした村内在住の24組の夫婦で、希望した11組が参加しました。

この日は、あいにくの雨模様でしたが、参加夫婦はお互いに協力し合い、それぞれの願いを込めて植樹。最後に、夫婦の名前を書き込んだ手作りの木製プレート掲げました。植樹式には村議会議員などおよそ20人も出席し、手分けで各夫婦の作業をサポート。新婚さんをお祝いしていました。

平成13年度から始まった記念植樹は、今回を含め合計165組の方々が植樹しています。

参加者の声

今日は植樹に来てよかったですし、二人で一緒に思い出に残る植樹ができ、楽しかったです。植えた桜が育ってきて、桜が咲いたらまた見に来て楽しみたいです。



林正和さん・香奈さん(滝久保)



桜の幹を保護するため麻布を巻く



6



2



3



4



8



7



5

1 記念植樹に参加した新婚の皆さん 2 雨や霧の中行われた作業 3 村長・議員の皆さんが植樹をサポート 4 新婚さんに村から記念品贈呈 5 8桜に掲げる木製プレートをそれぞれ手作り 6 植樹の仕上げに麻布を巻く 7 夫婦で協力して植樹



若い桜の木を支える支柱を固定

入籍が一年前で、去年植樹ができなかったのが、今回ようやく参加でき感慨深いです。植樹は本格的で楽しかったです。植樹はかまた、植えた桜を再び見に来たいと思います。



新木茂幸さん・望美さん(吹張)